

第2表の2（小）

学校名 清瀬市立清明小学校

（2）特色ある教育活動

ア 生活科・総合的な学習の時間を中心に「伝統文化教育」「環境教育」を核にした体験型探究学習を通して「読解力」「分析力」「考察力」「説明力」を身に付けさせ、学ぶ喜びや大切さを実感できるようにする。その他命の教育、地域とのかかわりも実践しながら ESD の推進を図っていく。

【伝統文化】「下宿囃子」「ふせぎ行事」について、地域の方々から話を聞いたり、体験したりすることを通し、伝統文化を受け継ぎ、郷土愛を育む学習を充実させる。

【環境】清明林や下宿ビオトープ公園での学習、柳瀬川体験学習等、地域の豊かな自然を活用した環境学習で自然環境を守るためにできることを考え自らの生活や行動に生かす力を育成する。

【命と人権】 人権課題「高齢者」「障害者」「性的指向」や「命の学習」に取り組む。

「高齢者」では、認知症サポーター養成講座や「清雅苑」等との交流を通し、共に助け合って生きようとする態度を育む。また、「障害者」での車いす体験学習や「性的指向」での LGBTQ の学習を行い、共に理解し合って生きようとする態度を育む。命の学習として「赤ちゃんプロジェクト」「食育」「柳瀬川体験学習」を通し、自他の命を大切にする主体的な態度を育む。

【地域】 コミュニティスクールとして地域との連携により学校力の向上を図るため、学校支援本部、清瀬市コミュニティハウス NPO 法人きよセラボと協働し地域人材を活用していく。

イ 学力向上を図る

【算数科授業の充実】

- ・年間3単位時間の東京ベーシックドリルの診断テストの活用により、児童の習熟状況を把握し指導計画を適切に修正しながら学習内容の定着を図る。

【読書活動の充実】

- ・学校図書館支援員を全学級隔週で図書の時間に配置し、学校図書館年間活動計画に沿って、読み聞かせ、ブックトーク等を実施し、読書活動の充実を図り、豊かな心と創造力を育む。

【言語能力の向上】

- ・全学年で授業後の振り返りを行い、分かったことや気づき等を文章で書かせることや、学年に応じた三文作文の指導を行い書く力、伝える力を伸ばす。

【「総合的な学習の時間」と「各教科等」の横断的な学習】

- ・ESD カレンダーを活用した横断的な学習を通して、教科で身に付けた知識や考え方、学習したことをまとめ、発信していけるよう、読解力、分析力、考察力、説明力を伸ばしていく。

ウ その他の配慮事項

- ・特別支援学級設置校長会及び担任連絡会等を通して、小・中学校の連携を推進し、特別支援学級における指導の連続性が図れるように留意する。

【未来塾】

- ・地域人材を活用し、放課後算数の補習学習や宿題の見守りとおし、基礎学力を向上させる。

【小中連携】

- ・9年間の学びにおいて育てたい児童・生徒像「自ら学ぶことの楽しさを実感し、すすんで自分を高めようとする児童・生徒の育成」の具現化のために、授業改善や特別活動行事の内容、読書活動面で中学校との系統性、連続性を踏まえた取組を実施する。